

登録No. S-128
 登録名 Sacituzumab govitecan療法
 催吐性リスク 高度
 適応疾患 乳癌
 投与スケジュール

	薬剤	投与量	最大投与量	投与日	投与経路	投与時間	備考
Rp.1	アセトアミノフェン静注液1000mgパック	500mg/body		d1・8	d.i.v.	15分	
Rp.2	ハロセトドン0.75mgパック デキサメタゾン マルイ酸カルフェニラミン ファモチジン ホスネツピタント	50mL/body 9.9mg/body 5mg/body 20mg/body 235mg/body		d1・8	d.i.v.	30分	
Rp.3	生食	100mL/body		d1・8	d.i.v.	1-2回目は経過観察 経過観察：30分 3回目以降は前後フラッシュ全開	サシツズマブ・ゴビテカン 前後フラッシュ&経過観察用
Rp.4	サシツズマブ・ゴビテカン 生食	10mg/kg 250mL/body		d1・8	d.i.v.	初回180分 忍容性良好であれば 2回目以降60分まで 短縮可	遮光投与

1クールの期間

3週間

標準クール数

P.Dまで

最大クール数

休薬期間の規定

投与間隔短縮の規定

その他（副作用・PS規定等）

PS : 0-1

患者選択基準： タキサン系抗悪性腫瘍剤の治療歴のある患者に使用
 ホルモン陰性かつHER2陰性（IHC : 0、1+、2+→FISH陰性）の手術不能または再発乳がん患者に使用
 Neutr > 1,500 / μL, Plt > 10万 / μL, Hb > 9g/dL, Cr > 60mL/min
 AST/ALT ≤ 2.5 × ULN (肝転移がある場合: ≤ 5 × ULN)、T-Bil ≤ 1.5 × ULN, Alb ≥ 3g/dL
 全ての毒性がG1以下（脱毛症及びニューロパシーを除く [G2以下]）に回復している

各サイクルの投与基準： d1 Neutr ≥ 1,500 / μL, d8 Neutr ≥ 1,000 / μL, G3の血液毒性、非血液毒性を認めない

減量： 1段階：7.5mg/kg 2段階：5mg/kg 3段階：中止

副作用： 骨髄抑制、消化器症状、肝機能障害、心臓障害、腎機能障害、血栓塞栓症、腸閉塞、消化管穿孔、消化管出血、間質性肺炎
アナフィラキシー、infusion reactionなど

注意事項： 調製後の最終濃度；1.1mg/mL～3.4mg/mL